

新型コロナ 検査拡大など来年度予算要望を提出

日本共産党岡山市議団は11月24日、来年度予算編成への要望書を市長と教育長に提出しました。「コロナ禍で、誰ひとり取り残さない岡山市を」がテーマの137項目の要求です。

コロナ対策では▼無症状でも無料で受けられるPCR検査▼市独自の給付金、税・料金などの減免の拡充を求めました。

子育て支援では▼少人数学級の推進▼子ども医療の拡充▼市立幼稚園・保育園の廃止・民営化の中止▼学校給食のセンター化方針撤回を求めました。

弱い危機意識

11月定例市議会が11月27日から12月15日まで開かれます。市はコロナ対策で、国の慰労金対象外の医療、介護、障害等の労働者と学童保育支援員に市からの慰労金3万円、4月28日以降出生の子どもに3万円、「ひとり親世帯臨時特別給付金」の1人あたり

重大介護保険料連続値上げ計画

岡山市は「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）」を作っています。来年度から3年間の介護保険の計画で、11月20日には介護保険料の見込みが示されました。現在の基準月額6,160円を7,050円に値上げし、さら

に2025年には7,800円程度にするという連続値上げ案です。「保険料が高いのにサービスは低い」「介護労働者の待遇が悪い」等の問題の原因である、公費負担の少なさはそのままです。市ができる努力である基金の計画的活用も不透明です。

市民の声を聞くパブリックコメントは12月1日から1月8日です。みなさんの声をお寄せください。

2万円追加支給などの補正予算案を出しました。一方、連日増える感染者について、今まで通り感染に気をつけることを呼びかける以上の対策はなく、「マスクで会食」しか言えない国と大差ありません。東市議は市の危機意識の弱さを指摘し、検査拡大を求めました。

ひごと

政令市の市長会と議長会が出した財源確保などの国政要望を共産党国会議員団に伝えるに、国会に行きました。私は、岡山市が計画するバスの高齢者・障害者割引への補助や、国保財政への支援を求めました。(東つよし)

あずま
東
つよしの

つよしの

奔西走



市長に要望書を渡す日本共産党市議団(東市議は左から2番目)

